

ここ  
農芸からはじまる  
わたし  
新しい未来



2023 School Guide

京都府立  
農芸高等学校

Kyoto Prefectural Nogei High School

農業生産科  
園芸技術科  
環境創造科

## 教育理念

自己の社会的使命を自覚させ、研究的態度と応用能力を培うことに重点を置き、近代的な農業の発展に貢献できる実践力、強い責任感と精神力を持った人材の育成を目指します。

## 校訓

「質実剛健」

ーあしこしの強い青年を育てー

## Message

農業は自然を相手に食料生産や環境保全に寄与する我々人類の生命を支える基幹産業です。そして、その根底にある農学という学問は、医学や理学、工学と同様に理系の学問、いわゆるサイエンスに属します。

動植物や自然環境に対する合理的で科学的な根拠を求める学習とともに、命あるものを育て、生命や自然の恵みに感謝する、系統的で体験的な農業教育学習を通して、人としての成長を図る「全人的な教育」を実践します。

校長 長谷川清隆



## 農芸高校が実践する学び

農芸高校の学びは、農業に関する専門知識や技術を身に付けるだけでなく、「自然」と「人」を相手に経験を積み重ねていく学びです。

真剣に課題に向き合うからこそ、心に響く経験があります。

高校生の好奇心をかきたて、人生を豊かに生きていくための土台をしっかりと積み上げる。君の将来に必要な学びを実践します。



## 農業が広げる幅広い学び

農業は独立した分野ではありません。経営やグローバルな視点、科学的分析、情報活用能力など様々な能力が必要とされます。

農業の学びは他の学びと強く繋がっている総合的な学びです。

本校は農業の学びを軸に様々な教科と繋がり、総合的な学びを通した真の学力の向上を実現します。

## 社会とつながる生きた学び

学んだことを実践する。その経験が学びを深めてくれる。

対象は自然が作り出した生命だ。人が作り出した社会だ。思い通りには行かないからこそ考え、失敗し、また考える。そして気づけば誰かを笑顔に変えることが、自分にも出来ることに気づく。

本校の学びは知識としての学びを実践し、社会での役割や意義を実感できることで、心を揺さぶる学びを実践します。



## 最先端の施設設備で専門性の高い学び

モニタリングシステム、IoT、GPS、AIによる分析…。今、農業は新しいステージに進んでいます。今まで大切にしてきた伝統はそのままに、データや画像処理などにより、安心安全で高精度の農業が可能となっています。

本校は最先端の施設設備を導入し、新しい農業を通してこれからの未来を見つめる学びを実践しています。

## ACCESS

(Agricultural Course-Centered Educational Smart System)

選択する専門分野（コース）を中心に学びを進めるシステム「ACCESS」を実践しています。

農業に関する学習は、1年後半からコースに関連した内容に移行し、生命や環境と深くつながることで、それぞれの専門性を高めます。また、コースの先輩・後輩や、教員・地域の人など多くのつながりの中で自らの役割を理解し行動する恵まれた学習環境を提供します。



## 希望進路を実現する学びのシステム

専門分野のコース選択だけでなく、進路目標に合わせ4年制大学進学を目指す「発展系」、農業の学びを深め多様な進路をめざす「一般系」の2系統を準備しています。

関心のある農業分野を学びながら、希望進路を実現する学びのシステムで進路実現をサポートします。



「つながり」の中で学ぶ

未来につながる学び

## 学びのシステム

農芸高校では農業に関わる8つの専門コースを準備しています。入学後、自身の興味関心ある専門分野を選択して本格的な学びを実践します。



### 基礎の定着と目標設定

1年生前期は全員で「農業の基礎」をしっかり学びます。その中で自分に合ったコースを見つけ、10月から専門の内容を中心にした学習に切り替えることで高い専門性の習得を目指します。

### 専門分野で新たな挑戦

2年生では専門分野について様々な挑戦をしていきます。先輩から教わることや後輩への指導などを通して知識の定着を図ります。

### 専門を通した深い学び

3年生は知識と経験を活用し、自身の専門分野の学びを深めます。そして自ら課題を設定し、解決に向けた研究活動を積極的に進めます。



## 作物コース

最先端ツールで  
守り・支える京の食文化



酒造好適米「京の輝き」、菓子用白小豆の試験栽培を行うなど、多くの連携先と協力し、京都らしい農業の6次産業化を実践的に学んでいます。

京都府豆腐油揚げ商工組合青年部と連携した「大豆100粒運動 for High School プロジェクト」では、丹波黒、京白丹波などの京都ならではの大豆品種を栽培し、豆腐の商品化に成功しました。

最先端のスマート農業機械を導入し、京都の食文化を守り、支える人材を育成します。

京都を支える農業後継者を育成

- 農業生産の基本であるイネを中心に、マメ類、イモ類、露地野菜類の生育、栽培管理技術を学びます。
- スマート農業機械を用いた特別栽培を実践し、環境負荷の少ない持続可能な作物生産を目指します。



## 動物資源コース

100年先の京都の酪農を支える  
安心・安全のその先へ！



農芸高校の牛舎では、100年先の京都にも酪農があるために、IT機器や人工知能を使い、安定した酪農経営が行えるよう検証しています。また、データ管理アプリを用い、全頭の個体情報や飼養管理情報を共有し、生産性の向上を目指しています。様々な「スマート畜産」を取り入れ、新しい酪農を創るとともに、自分たちの目で耳で手で、しっかりと牛を管理できるよう、感性と技術を磨きます。

私たちが創る新しい酪農の世界

- 乳用牛を中心に家畜の生理特性を理解し、飼養管理・繁殖技術を学びます。
- 酪農教育ファーム活動、家畜改良や共進会への出品を通じて、農家の見本となるモデル農場を目指します。



## 畜産流通コース

安心安全で高品質な畜産物生産  
和牛甲子園で頂点を目指す！



全国の農業高校生が飼育した和牛の肉質とその取組を競う大会。京都の老舗酒造から酒粕の提供を受けるなど、関連機関・企業に協力していただき挑戦を続けています。

安心・安全で質の高い鶏卵を生産するため、徹底した衛生環境の構築と作業方法の統一化によりHACCP認証農場に指定されました。また、黄身の白い卵の研究に着手し試行錯誤の末「玄米たまご」をつくりました。

- 和牛、鶏、豚を中心に家畜の生理特性を理解し、飼養管理・繁殖整理を学びます。
- 京のこだわり畜産物生産農場として、衛生管理を徹底し、農芸ブランドの肉と卵の生産を目指します。

全国に誇るこだわり畜産物のブランド化



## 野菜コース



### 「6次産業化への挑戦」 食と農を支えるスペシャリスト



よりおいしく、より安全な野菜を生産することを目標に、環境に配慮した養液栽培でトマトやメロンを栽培しています。

グローバルGAPの認証を受け、京都府のモデル農場として徹底した生産工程を構築しています。また、生産物を外部企業と連携してジェラートやソースなどに加工することで商品価値を高める6次産業化にも挑戦し食と農を支えるスペシャリストを目指しています。

- 施設を用いたトマト、メロンの栽培管理技術や、加工・流通・販売までを学びます。
- 徹底した環境管理や生産工程管理(GAP)を実践し、環境負荷の少ない持続可能な野菜生産を目指します。



高度な生産技術で伝える食の魅力

## 草花コース



### 「スマート農業への挑戦」 健康で高品質な栽培技術の確立



新設された温室では、環境データが常にクラウド上で管理され、どこからでもアクセスできる環境が整いました。今まで「経験」で判断してきた栽培技術をデータ化することで、誰にでも挑戦しやすい農業に変わります。

環境をしっかりと整えることで、植物の能力を最大限に発揮し、健康で高品質な植物の栽培技術の確立に挑戦しています。

- 鉢花や花苗の栽培を中心に、その栽培管理技術や活用方法を学びます。
- 高品質な草花の栽培と豊かな生活を創造するための草花の活用方法の習得を目指します。



確かな技術が支える鮮やかな色彩

## 生物学コース



### 「新品種の作出への挑戦」 サステナブルな明るい未来を



植物の遺伝資源を用いて、細胞レベルから「持続可能な社会」へアプローチします。

品種改良でペチュニアとカリブラコアとの交雑種である「ペチュカリ」の開発に成功し、魅力的な花色・模様だけでなく、耐寒性をもたせたことで、温室で使用する燃料を不要にし、環境負荷を低減することに貢献しています。新たな品種の研究には、明日を切り拓く可能性が詰まっています。

- 植物バイオテクノロジーを中心に、生物資源の活用や植物の繁殖、育種に関する先端技術を学びます。
- 食品に利用される微生物の特性を理解し、バイオテクノロジー技術の習得を目指します。



すべての生き物が研究対象

# 環境創造科

目指せ、京都の環境をつくるエキスパート！

## 造園コース



### 「技能五輪」への挑戦 受け継ぐ伝統の技



京都の伝統産業である造園を受け継いでいけるよう、日々技能を磨きます。

技能五輪全国大会「造園」職種に、京都府代表として出場し、プロと技術を競うことで自身を高めることができます。一方、プロに学ぶ機会も多く、他では出来ない経験を積むことが出来ます。

世界へ誇る伝統の技を受け継ぎ、未来へつないでいきます。

京都の伝統を未来へつなぐ

- 庭園や生活空間、景観保全を環境創造の視点から考え、実践的な知識と技術を学びます。
- 京都府の造園業界で活躍できるように、造園技能士などの資格取得を目指します。



## 農業土木コース



### 「NNAP」で広がる学び 創造力は明日を切り拓く！



南丹広域振興局様と連携し「農業農村アプレンティスシッププログラム」通称NNAPに取り組んでいます。

農業にかかせない水資源について、施設設備の機能や必要性を、働いておられる方から直接学ぶことで地域の理解を深め専門性を高めています。

農業土木で農業、環境、人の暮らしを守っていくことを目指しています。

農業と環境、人の暮らしを守る

- 測量、設計・施工の知識を身に付け、生産基盤の整備や自然環境と調和した農業土木技術を学びます。
- 技術者として必要な測量士補、土木施工管理技士、鉄筋施工技能士などの資格取得を目指します。



# 専門は君の自信になる

好きな事だから本気になれる。  
本気になるからこそ学びになる。  
本気で取り組む専門分野の学びは、  
きっと君の自信になるはずです。

## 京都府立大学生命環境学部 高大連携プログラム

農芸高校と京都府立大学生命環境学部は、連携協定を締結しています。

この連携プログラムを通して酒造好適米「京の輝き」の試験栽培や農芸高校の牛乳を原材料とした「こうとなヨーグルト」のブランド化について大学生と共同研究を進めています。

専門分野でつながる連携プログラムを通して高度で発展的な学びを実践しています。



高度な学びが好奇心を刺激する

# 寮生活

姿勢を整える、自分を変える

# 進路実績

農業の学びが未来を広げる

## 生活環境を整えると、自分の成長が実感できる。

本校に入学した男子生徒は、船南寮で1年間の全寮制教育を受けます。生活指導を通して、正しいものの見方や考え方を体得し、現状を理解して自己実現の為に努力する姿勢を育みます。

また、集団生活の中で自身と向き合い、自主性や協調性を身につけることを目指します。

2年次からは、希望により入寮することができ、遠方からの通学などにも対応しています。



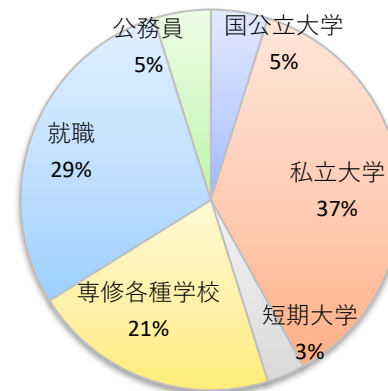
### 寮生活の日課

6:20 起床  
6:40～ 点呼・朝礼  
6:55～ 清掃  
7:10～ 朝食  
8:25 登校完了

17:00～ 入浴  
18:10～ 夕食  
20:30～ 学習時間①  
21:20～ 学習時間②  
22:20～ 点呼  
22:30 消灯



### 進路実績【過去2年間】



### 進学

京都教育大学、三重大学、京都府立大学

東京農業大学、龍谷大学、京都先端科学大学  
摂南大学、酪農学園大学、大阪商業大学  
花園大学、中部大学、京都光華女子大学  
明治国際医療大学、神戸芸術工科大学  
長浜バイオ大学、南九州大学、京都文教大学  
京都精華大学、京都芸術大学、高松大学  
流通科学大学

池坊短期大学、西日本短期大学

公立南丹看護専門学校（京都中部総合医療センター看護専門学校）、八紘学園北海道農業専門学校、タキイ研究農場付属園芸専門学校、修成建設専門学校、神戸動植物環境専門学校、京都動物専門学校、京都医健専門学校、YIC京都ペット総合専門学校、大和学園京都製菓製パン技術専門学校、大和学園京都栄養医療専門学校、大和学園京都調理師専門学校、京都理容美容専門学校、京都医療福祉専門学校、京都保育福祉専門学校、京都芸術デザイン専門学校、他

### 就職

京都府職員（農業）（土木）（学校事務）  
宇治市職員（土木）、自衛隊

山崎製パン株式会社、株式会社湖池屋、石井食品株式会社、ダイハツ工業株式会社、日本写真印刷コミュニケーションズ株式会社、ロームメカテック株式会社、ニチコン亀岡株式会社、ユニチカ株式会社宇治事業所、共栄樹脂株式会社、寺尾道路株式会社、株式会社京都協同管理、株式会社キセキ関西中部、京都食肉市場株式会社、瑞穂農林株式会社、京都エレクトロン株式会社、大成化工株式会社、株式会社京都テクニカ、日本郵便株式会社近畿支社、京都食肉市場株式会社、株式会社コメリ、他

生命と環境、人との関わりの中で学ぶ。  
さあ、新しい未来に向かって。

## Open School 2022

School Information Session

6 / 1 8 【Sat】

体験授業・学校説明

8 / 6 【Sat】

学校見学

1 0 / 1 【Sat】

体験授業・学校説明

1 1 / 1 9 【Sat】

学校見学（農芸祭）

詳細は後日、中学校を通じて  
ご案内いたします。

本校ホームページにも掲載します  
のでご確認ください。

2022年 京都府立農芸高校は創立40周年を迎えます。  
京都と農業、それを支える全ての人と共に、これからもNext Stageを目指していきます。



学校HP

### 京都府立農芸高等学校

〒622-0059 京都府南丹市園部町南大谷

TEL : 0771-65-0013 FAX : 0771-65-0006

Mail : [nougei-hs@kyoto-be.ne.jp](mailto:nougei-hs@kyoto-be.ne.jp)

HP : <http://www.kyoto-be.ne.jp/nougei-hs/>